

## 第72回「バケツ注水大会」への協賛について

～初期消火の重要性啓発に向けた地域防災活動を支援～

日本損害保険協会中部・北陸支部（委員長：片田 真理・損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員 中部エリア本部長）は、2026年7月1日（水）、高山消防署（岐阜県高山市桐生町3丁目208番地）で開催された「バケツ注水大会」（主催：高山市防火協会、共催：高山市消防本部）に協賛しました。

本大会は、今年で72回目を迎える高山市の伝統的な防火イベントで、当会は毎年協賛しております。高山市は市域の約92%を森林が占める全国有数の森林都市であり、近年の全国的な山火事の発生状況を踏まえ、消防の力のみで頼るのではなく、市民自らが初期消火を行う意識の向上が重要視されています。

当日は、高山市内の学生、町内会、事業者などから構成された25チーム（1チーム5～8名）、約150名が参加しました。参加者は、高さの異なる標的（注水塔）に向けてバケツで注水し、その貯水量の多さを競い合いました。

参加者からは、「水を満たしたバケツは意外と重い」「狙った場所に正確に注水するのは難しい」といった声が聞かれ、注水による消火活動の難しさを体感していました。本大会を通じて、初期消火の重要性に対する認識が深まり、防火意識の一層の向上につながったものと考えられます。

当会では、今後も防災・減災および損害保険の普及促進・啓発に取り組み、地域の安心・安全に資する活動やイベントを支援してまいります。



<ドラム缶から水をすくう模様>



<注水塔への注水>